

---

---

## 声 明

---

---

今、全国の博物館・美術館の文化財公開施設に対する危機的な状況が生じている。行財政改革の名のもと、博物館施設や文化財保護への厳しい対応が行われようとしている。滋賀県では県立琵琶湖文化館が三月末で閉館し、収蔵機能のみを行う施設となった。また大阪府では博物館施設 4 館を廃止あるいは統合、民間委託等が検討されている。

博物館施設は文化財を保存・公開し、文化財保護の意義を市民に対して広くアピールする最前線の間であり、文化財を保存し永く後世に伝えるための重要な間でもある。こうした施設に対して、採算が合わないといった理由から行政が犠牲を強いていくことに大きな危機感を感じる。

文化財保存修復学会はこうした行政の対応に強く抗議することをここに決議する。

2008年5月17日

文化財保存修復学会 2008年度総会